

調査レポート

アジア経済概況(2015年7-9月)

【目次】

. 中華圏・韓国

- 1. 中国経済の概況・・・7-9月期の成長率は+6.9%と小幅鈍化…………… p.1
- 2. 中国の主要指標解説:鉄道輸送にみる「新常态」…………… p.3
- 3. 台湾経済の概況・・・7-9月期の実質GDP成長率は-1.0%に鈍化…………… p.4
- 4. 韓国経済の概況・・・7-9月期の実質GDP成長率は+2.6%に持ち直し…… p.5

. ASEAN・インド

- 1. タイ経済の概況・・・7-9月期の成長率は+2.9%と小幅持ち直し…………… p.6
- 2. インドネシア経済の概況・・・成長率は7-9月期も+4.7%で横ばい…………… p.7
- 3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標…………… p.8
- 4. ベトナム経済の概況・・・1-9月期の成長率は+6.5%と小幅加速…………… p.9
- 5. インド経済の概況・・・景気の持ち直しは緩やか…………… p.10

- . アジア通貨・株価動向…………… p.11

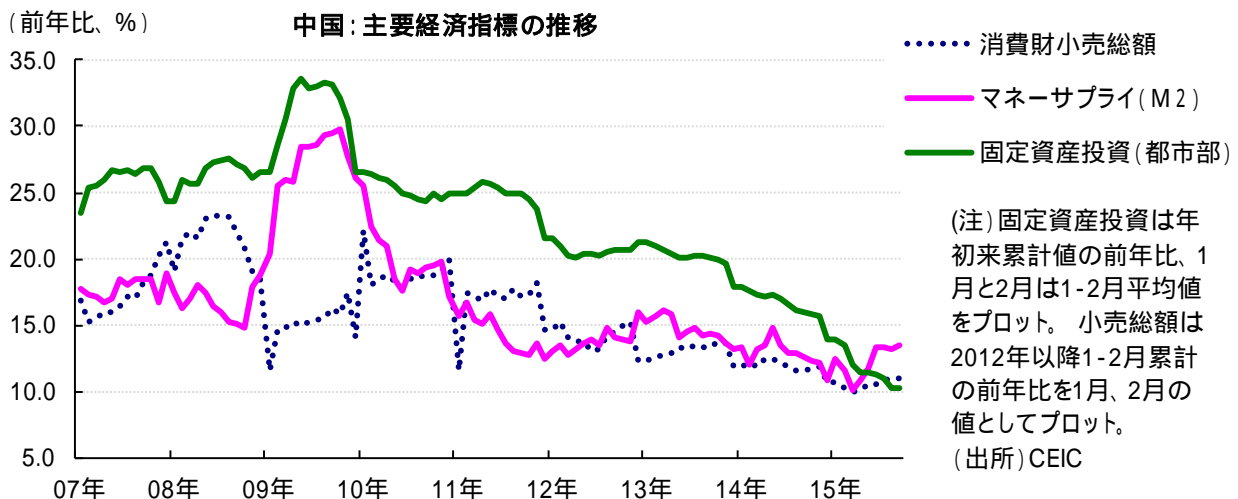
三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

調査部 研究員 野田 麻里子
〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2
TEL:03-6733-1070

・ 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・ 景気は減速しているが、一部に持ち直しの動きもみられる。
- ・ 7-9 月期の実質 GDP 成長率は、前年比ベースでは +6.9%と前期 (+7.0%) から小幅鈍化したものの、前期比ベースでは +1.8% (年率換算で +7.4%) と前期から横ばいであった。工業・建設業など第 2 次産業の伸び率は 7-9 月期前年比 +5.8%と前期 (同 +6.0%) からさらに鈍化した。宿泊・外食などを中心にサービス部門が 7-9 月期も同 +8.6%と好調を維持し、引き続き景気の牽引役を担っている。
- ・ 消費の状況を消費財小売総額でみると、綱紀粛正の影響で落ち込んでいた外食の売上が持ち直し基調にあることから、7-9 月期は前年比 +10.7%、10 月同 +11.0%に持ち直している。また消費者の買い控えなどから不振が続いていた自動車販売も 10 月から始まった自動車減税の効果もあり、10 月には前年比 +11.8%と 2014 年 12 月以来 10 カ月ぶりに前年比二桁増となった。
- ・ 固定資産投資は不動産関連の投資の鈍化により 1-9 月期前年比 +10.3%と 1-6 月期の同 +11.4%から一段と鈍化している。
- ・ 輸出は前年水準が高かったこともあり、7-9 月期前年比 -5.9%、10 月同 -7.0%と前年比マイナスが続いている。一方、輸入は商品価格の低下もあり、7-9 月期同 -14.4%、10 月同 -19.0%と前年比二桁のマイナスが続いている。
- ・ 製造業購買担当者指数 (PMI) は 8 月から 10 月まで 3 ヶ月連続して景気の拡大と縮小の分岐点である 50 を下回った。一方、サービス業 PMI は 10 月も 53.1 と 50 を上回っている。景気の下押し圧力は主に製造業で大きいとみられる。
- ・ マネーサプライの増加率は昨年 11 月以降 6 回にわたる利下げ、4 回の預金準備率 (大手行) 引下げなどを背景に 10 月には前年比 +13.5%に持ち直し、景気を下支えしている。



【中国・香港の主要経済指標】

			2012年	2013年	2014年	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/7月	15/8月	15/9月	15/10月	
GDP	実質GDP成長率	前期比%				1.9	1.7	1.3	1.8	1.8					
		前年比%				7.2	7.2	7.0	7.0	6.9					
	(累計ベース)	前年比%	7.7	7.7	7.3	7.3	7.3	7.0	7.0	6.9					
	名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	10.3	10.1	8.2	8.4	8.2	6.6	6.9	6.6					
消費	消費財小売総額	前年比%	14.2	13.2	12.0	11.9	11.7	10.6	10.2	10.7	10.5	10.8	10.9	11.0	
	うち都市部	前年比%	14.2	13.0	11.9	11.8	11.6	10.4	10.0	10.5	10.3	10.6	10.7	10.8	
	うち農村部	前年比%	14.5	14.8	12.9	12.8	12.4	11.6	11.6	12.0	11.9	11.9	12.1	12.2	
	自動車販売台数	前年比%	4.3	13.9	6.9	4.2	6.2	3.9	1.0	2.4	7.1	3.0	2.1	11.8	
	うち乗用車(セダン、SUV他)	前年比%	7.1	15.7	9.9	8.1	9.2	9.0	0.5	1.9	6.6	3.4	3.3	13.3	
	消費者自信指数	期中平均	102.4	101.2	104.4	104.5	104.9	107.5	107.7	104.7	104.5	104.0	105.6	103.8	
	消費者期待指数	期中平均	106.9	105.5	107.9	107.8	108.4	110.8	110.8	107.4	107.0	106.8	108.5	106.4	
投資	固定資産投資(都市部・500万円以上;年初来累計)	前年比%	20.6	19.6	15.7	16.1	15.7	13.5	11.4	10.3	11.2	10.9	10.3	10.2	
	うち不動産・居住用建物	前年比%	22.1	20.3	11.1	12.6	11.1	9.0	5.7	3.8	5.3	4.7	3.8	3.4	
	うち国内企業	前年比%	21.2	20.5	16.3	16.8	16.3	13.8	11.8	10.8	11.6	11.4	10.8	10.7	
	うち製造業	前年比%	22.0	18.5	13.5	13.8	13.5	10.4	9.7	8.3	9.2	8.9	8.3	8.3	
	うち鉄鋼	前年比%	2.0	2.1	5.9	5.0	5.9	5.4	11.4	13.6	12.3	12.5	13.6	12.4	
	うち輸送機械(自動車)	前年比%	32.8	15.0	8.3	10.2	8.3	7.6	12.5	11.3	11.3	11.4	11.3	13.4	
	うち電気機械	前年比%	4.8	10.7	12.9	13.9	12.9	13.4	9.9	9.3	10.0	10.5	9.3	9.2	
	うち情報通信機器	前年比%	12.9	20.2	10.7	8.8	10.7	18.3	20.8	17.0	19.0	17.6	17.0	15.8	
	直接投資契約件数(累計ベース)	前年比%	10.1	8.6	4.4	5.5	4.4	22.4	8.6	10.0	8.8	10.7	10.0	9.3	
	直接投資実行額(累計ベース)	前年比%	2.3	2.9	1.7	1.4	1.7	10.6	8.0	8.6	7.7	8.9	8.6	8.1	
不動産景気指数	期中平均	95.6	97.3	95.2	94.8	94.3	93.4	92.5	93.3	93.0	93.5	93.4	93.3		
貿易及び外貨準備	貿易収支	10億ドル	230.3	259.0	383.1	128.1	149.5	123.7	139.5	163.6	43.0	60.2	60.3	61.6	
	輸出(ドルベース)	前年比%	7.9	7.8	6.0	12.9	8.5	4.6	2.2	5.9	8.4	5.6	3.8	7.0	
	輸入(ドルベース)	前年比%	4.3	7.2	0.5	1.2	1.6	17.8	13.6	14.4	8.2	13.9	20.5	19.0	
	対米貿易収支	10億ドル	218.9	216.1	237.0	69.6	70.0	53.2	66.7	73.8	22.4	24.8	26.5	25.5	
	対日貿易収支	10億ドル	26.2	12.1	13.5	5.8	3.3	0.4	3.4	1.9	1.6	0.5	0.1	0.0	
	外貨準備	期末10億ドル	3311.6	3821.3	3843.0	3887.7	3843.0	3730.0	3693.8	3514.1	3651.3	3557.4	3514.1	3525.5	
	生産	鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	10.0	9.7	8.3	8.5	8.3	6.4	6.3	6.2	6.3	6.3	6.2	6.1
うち国有企業		前年比%	6.4	6.9	4.9	5.2	4.9	1.7	1.9	1.3	1.6	1.6	1.3	1.1	
うち株式会社		前年比%	11.8	11.0	9.7	9.9	9.7	7.4	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.4	
うち外商・港台企業		前年比%	6.3	8.3	6.3	6.7	6.3	4.3	3.8	3.5	3.6	3.6	3.5	3.5	
発電量		前年比%	4.2	8.3	5.1	3.2	2.7	3.0	3.9	1.7	0.8	4.0	0.1	0.2	
製造業購買担当者指数(PMI)		%	50.8	50.8	50.7	51.3	50.4	49.9	50.2	49.8	50.0	49.7	49.8	49.8	
うち新規受注		%	50.9	51.7	51.6	52.8	51.0	50.3	50.3	49.9	49.9	49.7	50.2	50.3	
うち雇用	%	49.4	48.9	48.3	48.2	48.2	48.0	48.1	47.9	48.0	47.9	47.9	47.8		
新規輸出受注	%	49.3	49.4	49.6	50.3	49.1	48.4	48.4	47.8	47.9	47.7	47.9	47.4		
所得雇用	都市一人当り可処分所得(累計ベース)	前年比%	12.6	7.7	9.0	9.3	9.0	8.3	8.1	8.4					
	労働力市場求人倍率	期末	1.08	1.10	1.15	1.09	1.15	1.12	1.06	1.09					
	第二次産業/全産業求人比率	期末%	40.8	40.3											
物価	消費者物価指数	前年比%	2.7	2.6	2.0	2.0	1.5	1.2	1.4	1.7	1.6	2.0	1.6	1.3	
	うち食品	前年比%	4.9	4.7	3.1	3.0	2.6	1.9	2.1	3.0	2.7	3.7	2.7	1.9	
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	1.9	1.5	1.2	1.1	1.2	1.2	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	
	生産者物価指数	前年比%	1.7	1.9	1.9	1.3	2.8	4.6	4.7	5.7	5.4	5.9	5.9	5.9	
金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	13.8	13.6	12.2	12.9	12.2	11.6	11.8	13.1	13.3	13.3	13.1	13.5	
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	2.80	3.30	2.74	3.00	2.69	3.08	1.56	1.64	1.31	1.68	1.93	1.91	
	株価指数(上海総合)	期末	2,269	2,116	3,235	2,364	3,235	3,748	4,277	3,053	3,664	3,206	3,053	3,383	
	為替レート(元/ドル)	期中平均	6.31	6.20	6.14	6.16	6.14	6.14	6.12	6.26	6.12	6.31	6.37	6.35	
	為替レート(円/元)	期中平均	12.6	15.8	17.2	16.9	18.6	19.3	19.8	19.5	20.1	19.5	18.9	18.9	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	1.7	3.1	2.5	2.9	2.4	2.4	2.8	2.3				
		うち民間消費	前年比%	4.1	4.6	3.2	4.7	4.1	5.3	6.1	4.3				
		うち固定資本形成	前年比%	6.8	2.6	0.2	1.7	3.4	7.5	5.2	6.5				
		名目GDP成長率	前年比%	5.3	5.0	5.5	5.3	4.8	7.0	7.6	6.0				
	消費	小売販売数量指数	前年比%	7.1	10.8	0.4	3.6	4.0	0.0	5.9	0.2	4.0	0.2	4.3	
		貿易	貿易収支	10億ドル	478	503	550	124	161	119	125	90	28	25	36
			輸出(香港ドルベース)	前年比%	2.9	3.6	3.2	5.9	1.2	2.3	2.0	4.1	1.6	6.1	4.6
	輸入(香港ドルベース)		前年比%	3.9	3.8	3.9	5.7	3.3	1.4	3.2	6.7	5.2	7.4	7.6	
	物価	消費者物価指数	前年比%	4.1	4.3	4.4	4.8	5.1	4.4	3.0	2.3	2.5	2.5	2.0	2.4
	金融	マネーサプライ(M3)	期末%	10.3	11.7	12.6	14.5	11.0	10.1	9.1	5.3	5.0	5.9	4.9	
ハンセン指数	期末ポイント	22,657	23,306	23,605	22,933	23,605	24,901	26,250	20,846	24,636	21,671	20,846	22,640		

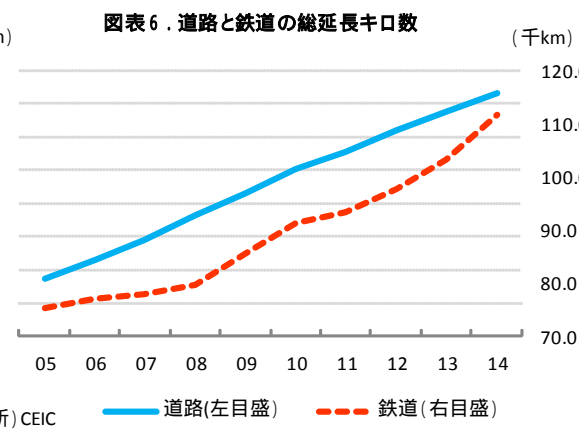
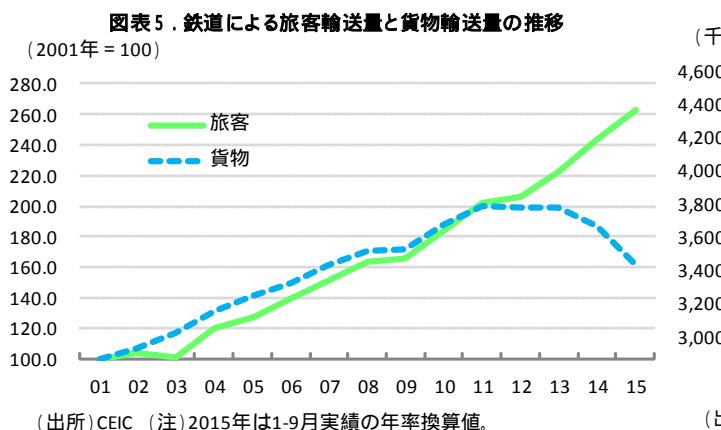
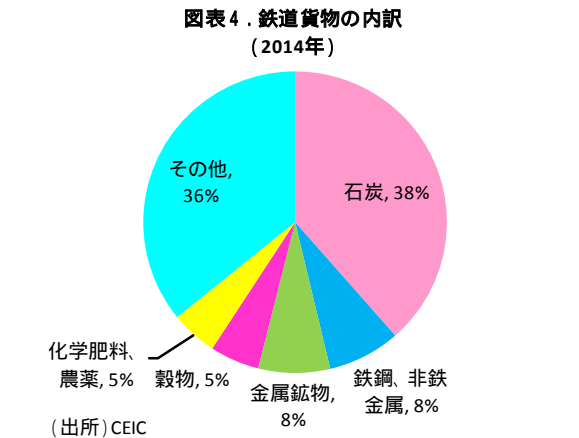
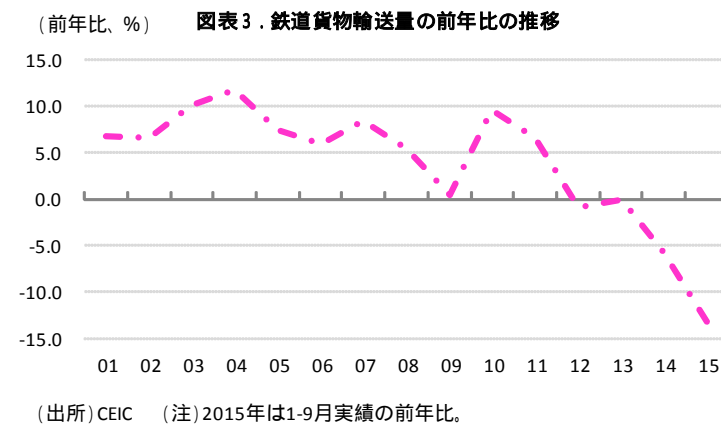
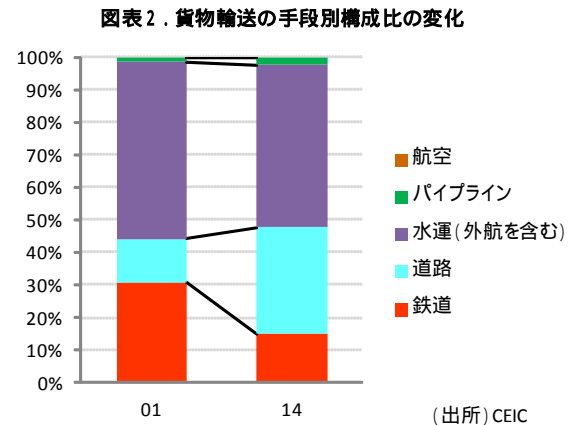
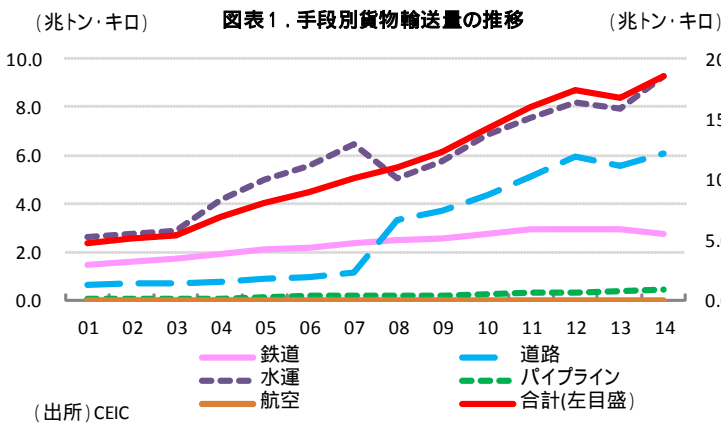
(出所)CEIC

2. 中国の主要指標解説：鉄道輸送にみる「新常态」

中国の貨物輸送の中心は遠洋輸送も含めた水運輸送だが、内陸輸送という観点でみると近年、主体は鉄道からトラック等による道路輸送に移っている（図表1、2）。

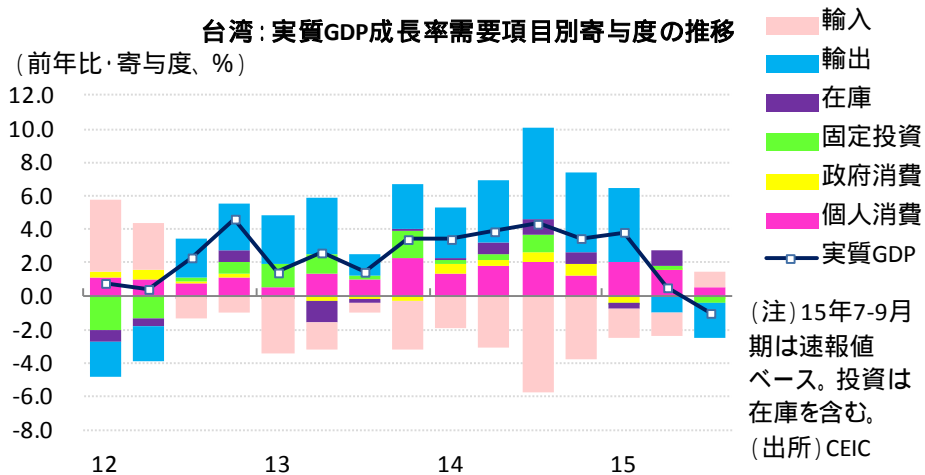
実際、鉄道貨物の輸送量は2012年以降前年比マイナスに転じている。これは中国経済の成長テンポが高速から中高速の「新常态」に移行する中で鉄道貨物の大きなウェイトを占める石炭・鉱物等の需要の伸びが鈍化していることが一因とみられる（図表3、4）。

しかし、その一方で鉄道の旅客輸送量は着実に増加している（図表5）。高速鉄道の新設・延伸なども積極的に進められており（図表6）、投資・輸出主導から消費・投資・輸出の3つのバランスが取れた経済構造への転換、あるいはサービス業の振興といった経済政策などとも相俟って鉄道輸送も「新常态」に移行しつつあるといえそうだ。



3. 台湾経済の概況

- ・景気は弱含んでいる。
- ・7-9月期の実質GDP成長率（速報値）は前年比 - 1.0%に鈍化した。前年比マイナス成長は2009年7-9月期（同 - 1.2%）以来6年ぶりである。電子部品等に対する世界的な需要の伸び悩みと中国経済の減速から輸出が一段と鈍化し、個人消費も株価の下落に伴う逆資産効果やマインド悪化から低迷した。ただし、前期比では+0.1%とプラスに転じ、2四半期連続マイナス成長 = 景気後退との判断は回避された。
- ・台湾政府は、景気の悪化を受けて省エネ家電の購入や携帯電話の買い替えに補助金を出す消費刺激策（11月7日から来年2月末まで）を打ち出した。また自動車の買い替えを促進する減税策についても現在、立法院（国会）で審議中である。
- ・台湾中銀も景気を下支えするため、9月に2009年2月以来6年半ぶりとなる政策金利の引下げ（1.875% → 1.75%）を決めた。



【台湾の主要経済指標】

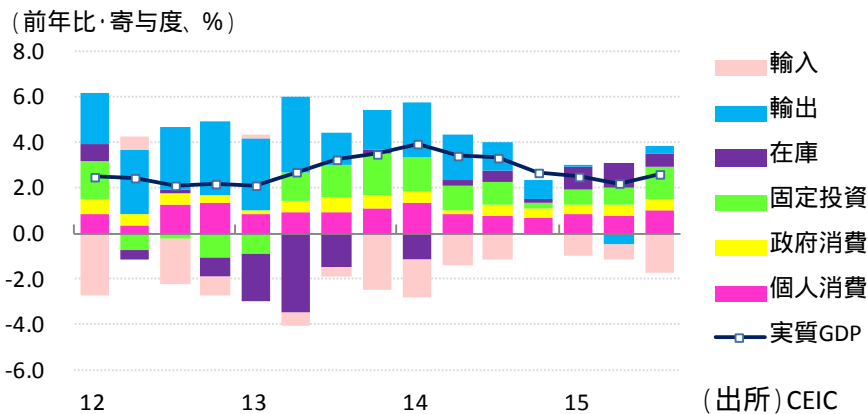
		2012年	2013年	2014年	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/7月	15/8月	15/9月	15/10月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				1.5	0.5	0.6	1.7	0.1				
	(前年比)	2.1	2.2	3.8	4.3	3.5	3.8	0.5	1.0				
	うち個人消費	1.8	2.4	3.0	3.8	2.4	3.5	2.9					
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	2.6	5.0	1.8	4.8	0.0	0.2	1.3					
生産	鉱工業生産(yoy)	0.2	0.7	6.4	7.7	7.9	5.8	1.1	4.6	2.7	5.7	5.5	6.2
消費	卸小売販売指数(yoy)	0.1	2.6	2.6	2.0	3.2	6.3	4.1	3.2	3.3	4.2	2.0	3.6
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	30.7	35.5	39.7	10.3	13.2	13.4	12.3	12.8	3.6	3.9	5.2	6.1
	輸出(yoy)	2.3	1.4	2.7	6.6	0.4	4.2	9.8	13.9	12.0	14.9	14.7	11.0
	輸出受注(yoy)	1.1	0.4	6.7	8.0	7.9	2.5	5.2	5.9	5.0	8.3	4.5	5.3
	輸入(yoy)	3.9	0.2	1.5	7.5	3.3	15.0	14.9	19.4	17.5	16.7	24.3	20.0
	経常収支(10億ドル)	49.0	55.3	65.4	15.2	19.1	22.0	16.4	19.7				
	外貨準備高(10億ドル)	403	417	419	421	419	415	421	426	422	425	426	427
雇用	失業率(季調値)	4.2	4.2	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.8	3.8
物価	消費者物価(yoy)	1.9	0.8	1.2	1.5	0.8	0.6	0.7	0.3	0.6	0.4	0.3	0.3
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	3.5	5.8	6.1	5.0	6.1	6.4	6.3	6.8	5.9	6.1	6.8	
	株価指数(加権指数)	7,700	8,612	9,307	8,967	9,307	9,586	9,323	8,181	8,665	8,175	8,181	8,554
	短期金利(オールナイト)	0.42	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.36	0.39	0.37	0.32	0.30
	為替レート(NTドル/ドル)	29.6	29.8	30.4	30.1	30.9	31.6	31.0	32.2	31.3	32.4	32.9	32.8
	為替レート(円/NTドル)	2.69	3.28	3.49	3.46	3.71	3.77	3.92	3.79	3.93	3.80	3.65	3.66

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・景気は低迷基調で推移している。
- ・7-9月期の実質GDP成長率は前年比+2.6%と前期(同+2.2%)から0.4%ポイント、前期比では+1.2%と前期(同+0.3%)から0.9%ポイントと大幅に加速した。消費がMERS(中東呼吸器症候群)の終息と特別減税や休日の追加により持ち直し、建設投資が政府の不動産活性化策と利下げに伴う住宅ローン金利の低下などを背景に堅調に拡大した。また7月には景気テコ入れのための補正予算も組まれた。しかし、輸出は依然として低迷しており、足元の消費持ち直しの動きも長続きしない可能性があるとみられている。韓国中銀は10月半ばに2015年の成長率見通しを7月時点の+2.8%から+2.7%に下方改訂している。
- ・韓国中銀は2014年8月以降今年6月まで4回の利下げ(合計1.00%ポイント:2.50%1.50%)を実施したが、それ以降11月まで5カ月連続して様子見として1.50%に据え置いている。

韓国: 実質GDP成長率需要項目別寄与度の推移



【韓国の主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/7月	15/8月	15/9月	15/10月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.8	0.3	0.8	0.3	1.2				
	(前年比)	2.3	2.9	3.3	3.3	2.7	2.5	2.2	2.6				
	うち個人消費	1.9	1.9	1.8	1.5	1.4	1.5	1.7	2.0				
	うち固定資本形成	0.5	3.3	3.1	3.3	0.7	2.4	2.4	5.0				
	うち設備	0.1	0.8	5.8	4.2	4.2	5.8	5.0	6.8				
生産	鉱工業生産(yoy)	1.4	0.7	0.1	1.2	1.8	0.9	1.4	0.3	3.3	0.1	2.4	
消費	小売売上高(数量,yoy)	2.5	0.7	1.6	1.5	1.8	1.7	2.9	3.2	2.1	2.0	5.5	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	28.3	44.0	47.2	8.9	18.3	21.6	24.6	20.0	6.9	4.2	8.9	6.7
	輸出(yoy)	1.3	2.1	2.3	3.6	0.9	3.0	7.2	9.5	5.2	15.2	8.4	15.9
	輸入(yoy)	0.9	0.8	1.9	5.4	2.8	15.5	15.6	18.5	15.4	18.4	21.8	16.6
	経常収支(10億ドル)	50.8	81.1	89.2	22.6	27.2	23.5	28.9	28.3	9.3	8.4	10.6	
	外貨準備高(10億ドル)	327	346	364	364	364	363	375	368	371	368	368	370
雇用	失業率(季調値)	3.2	3.1	3.5	3.5	3.5	3.7	3.8	3.6	3.7	3.6	3.5	3.4
物価	消費者物価(yoy)	2.2	1.3	1.3	1.4	1.0	0.6	0.5	0.7	0.7	0.7	0.6	0.9
金融	マネーサプライ(New M2,yoy)	4.8	4.6	8.1	7.2	8.1	8.5	9.6	9.0	8.9	8.9	9.0	
	株価指数(総合)	1,997	2,011	1,916	2,020	1,916	2,041	2,074	1,963	2,030	1,941	1,963	2,029
	CDレート(3カ月物)	3.30	2.72	2.49	2.51	2.16	2.07	1.77	1.63	1.65	1.64	1.60	1.58
	為替レート(ウォン/ドル)	1,127	1,095	1,053	1,026	1,087	1,100	1,097	1,169	1,143	1,179	1,185	1,148
	為替レート(円/100ウォン)	7.1	8.9	10.1	10.2	10.6	10.9	11.1	10.3	10.6	10.3	10.0	10.6

(出所)CEIC

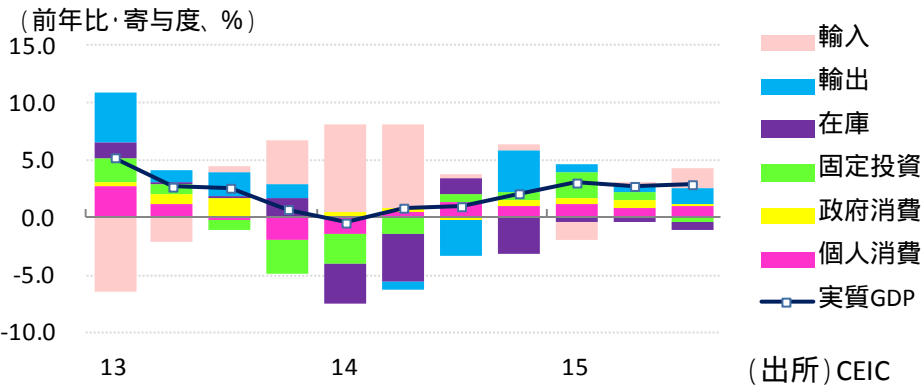
(注)yoy=前年比(%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・景気の回復テンポは依然として緩やかなものにとどまっている。
- ・7-9月期の実質GDP成長率は、物価の安定を背景とした個人消費の堅調、観光などサービス輸出の増加、国内の生産活動の低迷を反映した輸入の減少（成長率にはプラスに寄与）から、前年比+2.9%と前期（同+2.8%）より0.1%ポイント加速した（前期比では+1.0%と前期より0.7%ポイント加速）。投資は公共投資が前年比+15.9%と二桁の拡大を続けたものの、民間投資が同-6.6%と低迷したことから同-1.2%にとどまった。産業別には、旱魃の影響で農業が前年比-5.7%と不振であったが、ホテル・飲食（同+10.9%）などサービス業が堅調であった。ただし、8月のバンコクでの爆弾テロ以降、観光客数は大幅に減少している。
- ・国家経済社会開発委員会は政府の景気テコ入れ策の効果もあり、2015年前年比+2.9%、2016年同+3.0~4.0%との見通しを発表している。

タイ: 実質GDP成長率需要項目別寄与度の推移



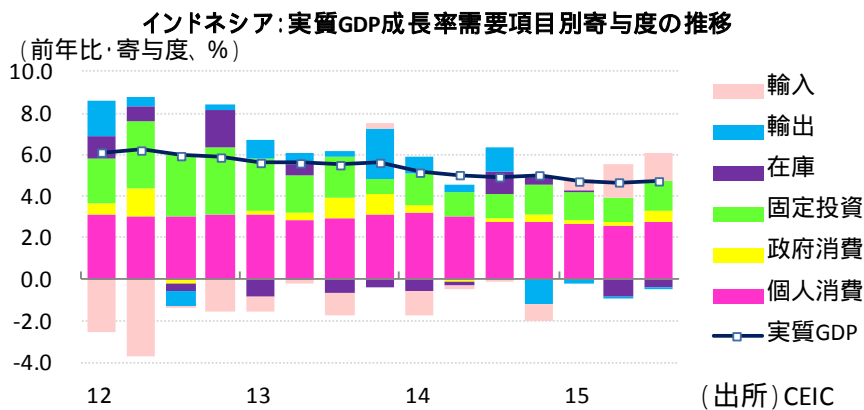
【タイの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/7月	15/8月	15/9月	15/10月
GDP (yoy)	実質GDP	7.3	2.8	0.9	1.0	2.1	3.0	2.8	2.9				
	個人消費	6.3	0.8	0.6	2.5	2.1	2.4	1.6	1.7				
	総固定資本形成	10.2	0.8	2.6	2.6	3.2	10.7	2.7	1.2				
生産	製造業生産指数(yoy)	2.2	3.2	4.6	3.9	2.3	0.1	7.5	6.1	6.3	8.3	3.6	
消費	個人消費指数(yoy)	8.3	1.7	0.9	1.5	1.5	1.6	1.5	0.7	1.5	0.7	0.1	
投資	民間企業投資指数(yoy)	10.2	0.7	2.1	1.8	1.6	1.2	0.5	1.3	0.6	2.1	1.1	
輸出入 BOP ^A -S	貿易収支(10億ドル)	6.7	6.7	24.6	4.8	7.7	7.4	7.8	9.6	2.7	2.9	4.0	
	輸出(yoy)	3.0	0.1	0.3	1.8	1.5	4.3	5.5	4.7	3.1	5.6	5.4	
	輸入(yoy)	8.4	0.1	8.5	0.8	5.8	7.2	10.1	14.5	10.6	10.8	21.3	
国際収支	経常収支(10億ドル)	1.5	5.2	15.4	0.5	10.3	8.4	6.2	6.4	2.2	2.6	1.6	
	外貨準備高(10億ドル)	171.1	159.0	149.1	153.3	149.1	148.5	152.5	148.0	149.5	148.2	148.0	150.7
雇用	失業率(季調前)	0.7	0.7	0.8	0.8	0.6	1.0	0.9	0.9	1.0	1.0	0.8	0.9
物価	消費者物価(総合,yoy)	3.0	2.2	1.9	2.0	1.1	0.5	1.1	1.1	1.0	1.2	1.1	0.8
	消費者物価(コア,yoy)	2.1	1.0	1.6	1.8	1.7	1.5	1.0	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0
金融	マネーサプライ(broad M ₃ ,yoy)	10.4	7.3	4.7	4.0	4.7	6.1	6.0	5.3	6.0	5.4	5.3	
	株価指数(SET)	1,392	1,299	1,498	1,586	1,498	1,506	1,505	1,349	1,440	1,382	1,349	1,395
	インターバンク金利(3M)	3.08	2.69	2.22	2.18	2.18	2.12	1.75	1.64	1.65	1.63	1.63	1.63
	為替レート(バーツ/\$)	31.1	30.7	32.5	32.1	32.7	32.6	33.3	35.2	34.3	35.4	36.0	35.7
	為替レート(円/バーツ)	2.57	3.17	3.25	3.24	3.49	3.65	3.65	3.46	3.59	3.47	3.34	3.36

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

2. インドネシア経済の概況

- ・景気の拡大テンポは緩やかなものにとどまっている。
- ・7-9月期の実質 GDP 成長率は前年比 +4.73%と前期（同 +4.67%）からわずかに持ち直した。これは個人消費が堅調に推移し、輸入の大幅な減少（成長率の押し上げ要因）が続く中で、予算執行の加速から政府消費や公共投資が拡大したためである。
- ・加えて政府は9月以降、投資拡大のための規制緩和、燃料価格の引下げ、中小零細企業向けの低利融資の拡大など経済活性化のための経済政策パッケージを次々と打ち出している。これらの政策による景気の押し上げが期待されているものの、成長率は1-3月期の同 +4.72%からほぼ横ばいで推移しており、通年で同 +5.0%の政府目標の達成は難しいとみられている。
- ・インドネシア中銀は11月17日の定例会合で米国の利上げが近づいていることをひとつの理由として9カ月連続となる政策金利の据え置き（7.50%）を決めた。しかし、その一方で、預金準備率の引下げ（8.0% → 7.5%；12月1日実施）を決め、金融緩和により景気の持ち直し傾向を下支えする姿勢を示した。



【インドネシアの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/7月	15/8月	15/9月	15/10月
GDP (yoy)	実質 GDP	6.0	5.6	5.0	4.9	5.0	4.7	4.7	4.7				
	個人消費	5.5	5.4	5.1	5.1	5.0	5.0	5.0	5.0				
	総固定資本形成	9.1	5.3	4.1	3.9	4.3	4.4	3.7	4.6				
生産	製造業生産 (yoy)	4.1	6.0	4.8	5.8	5.5	5.1	5.2	4.2	5.3	6.9	0.7	
消費	小売売上 (yoy)	14.5	12.9	14.5	15.3	10.6	15.5	22.0	7.2	8.4	5.8	7.2	5.8
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	1.7	4.1	1.9	0.5	0.3	2.3	2.1	2.7	1.4	0.3	1.0	1.0
	輸出 (yoy)	6.6	3.9	3.5	2.3	10.4	11.8	11.7	16.2	18.8	12.1	17.6	21.0
	(除く石油ガス, yoy)	5.5	2.0	2.6	2.0	7.7	8.4	4.6	10.5	13.6	5.8	12.0	16.9
	輸入 (yoy)	8.0	2.6	4.5	3.3	5.3	15.0	20.3	23.4	28.4	16.2	25.6	27.8
国際収支	経常収支 (10億ドル)	24.4	29.1	27.5	7.0	6.0	4.2	4.2	4.0				
	外貨準備高 (10億ドル)	105.3	92.9	105.5	104.7	105.5	105.4	101.8	95.6	101.6	99.3	95.6	94.6
物価	消費者物価 (yoy)	4.0	6.4	6.4	4.4	6.5	6.5	7.1	7.1	7.3	7.2	6.8	6.2
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	15.0	12.8	11.9	11.9	11.9	16.3	13.0	12.4	12.5	13.3	12.4	
	株価指数 (総合)	4,317	4,274	5,227	5,138	5,227	5,519	4,911	4,224	4,803	4,510	4,224	4,455
	中銀債金利 (3ヵ月)	5.75	7.50	7.75	7.50	7.75	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50
	為替レート (ルピア/ドル)	9,419	10,563	11,885	11,840	12,239	12,857	13,160	14,055	13,481	14,027	14,657	13,639
	為替レート (円/100ルピア)	0.85	0.93	0.89	0.89	0.94	0.93	0.92	0.87	0.92	0.86	0.82	0.89

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/7月	15/8月	15/9月	15/10月
GDP (yoy)	実質GDP	5.5	4.7	6.0	5.6	5.7	5.6	4.9	4.7				
	個人消費	8.3	7.2	7.0	6.8	7.6	8.8	6.4	4.1				
	総固定資本形成	19.0	8.2	4.8	1.3	4.3	7.9	0.5	4.3				
生産	鉱工業生産(yoy)	4.2	3.4	5.1	4.1	5.8	6.5	4.3	4.5	6.1	2.3	5.1	
消費	自動車販売台数(yoy)	4.6	4.5	1.6	8.8	3.8	5.2	11.2	2.5	2.7	4.5	7.0	2.9
輸出入	貿易収支(10億ドル)	31.1	22.6	25.2	5.2	6.2	5.9	5.6	5.5	0.6	2.5	2.2	
	輸出(yoy)	0.3	0.4	2.3	3.0	4.4	11.1	14.8	17.0	13.3	18.5	18.8	
	輸入(yoy)	4.8	4.8	1.4	4.2	0.2	8.6	16.2	19.0	11.3	26.5	18.2	
国際収支	経常収支(10億ドル)	16.2	11.3	14.5	2.2	1.7	2.8	2.1	1.2				
	外貨準備高(10億ドル)	126	122	107	117	107	96	97	85	88	86	85	86
雇用	失業率(%)	3.0	3.1	2.9	2.7	2.8	3.1	3.1		3.2	3.2		
物価	消費者物価(yoy)	1.7	2.1	3.1	3.0	2.8	0.7	2.2	3.0	3.3	3.1	2.6	2.5
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	9.7	8.4	7.5	5.4	7.5	8.5	6.5	5.5	4.4	5.1	5.5	
	株価指数(総合)	1,689	1,867	1,761	1,846	1,761	1,831	1,707	1,621	1,723	1,613	1,621	1,666
	インターの金利(1M,%)	3.06	3.07	3.21	3.30	3.37	3.32	3.29	3.39	3.35	3.37	3.45	
	為替レート(リンギ/ドル)	3.09	3.15	3.27	3.19	3.36	3.62	3.66	4.06	3.80	4.06	4.31	4.27
	為替レート(円/リンギ)	25.8	30.9	32.3	32.5	34.0	32.9	33.2	30.1	32.4	30.4	27.9	28.1

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は2013年以降2010年基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/7月	15/8月	15/9月	15/10月
GDP (yoy)	実質GDP	6.7	7.1	6.1	5.5	6.6	5.0	5.6					
	個人消費	6.6	5.6	5.4	4.9	5.0	6.0	6.2					
	固定資本形成	10.8	12.2	6.8	10.7	8.0	10.0	8.9					
生産	鉱工業生産(yoy)	7.0	5.4	6.3	5.3	6.0	0.1	7.4	5.9	6.8	6.0	4.8	
消費	自動車販売台数(yoy)	10.6	15.7	29.5	37.6	30.3	21.6	19.8	23.1	18.5	21.3	29.4	28.7
輸出入	貿易収支(10億ドル)	10.0	5.7	3.3	0.4	1.5	1.5	0.4		1.5	1.0		
	輸出(yoy)	7.9	8.8	9.5	12.6	5.7	0.2	8.3	11.2	1.8	6.3	24.7	
	輸入(yoy)	2.7	0.5	4.8	2.5	4.5	4.0	1.6		23.0	5.7		
国際収支	経常収支(10億ドル)	6.9	11.4	10.9	2.9	4.1	1.9	2.8					
	外貨準備高(10億ドル)	83.8	83.2	79.5	79.5	79.5	80.4	80.6	80.5	80.3	80.2	80.5	81.1
雇用	失業率(%)	7.2	7.2	7.0	6.7	6.0	6.6	6.4	6.5				
物価	消費者物価(yoy)	3.2	2.9	4.2	4.7	3.6	2.4	1.7	0.6	0.8	0.6	0.4	0.4
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	9.4	31.8	11.2	16.4	11.2	8.8	9.3	8.5	8.4	9.0	8.5	
	株価指数(総合)	5,813	5,890	7,231	7,283	7,231	7,940	7,565	6,894	7,550	7,099	6,894	7,134
	国債(3カ月,%,期末)	0.20	0.00	1.42	1.24	1.42	1.40	2.14	1.51	2.078	1.999	1.505	1.49
	為替レート(ペソ/ドル)	42.2	42.4	44.4	43.8	44.8	44.4	44.7	46.1	45.3	46.1	46.8	46.4
	為替レート(円/ペソ)	1.89	2.30	2.38	2.37	2.55	2.68	2.72	2.65	2.72	2.67	2.57	2.59

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)。

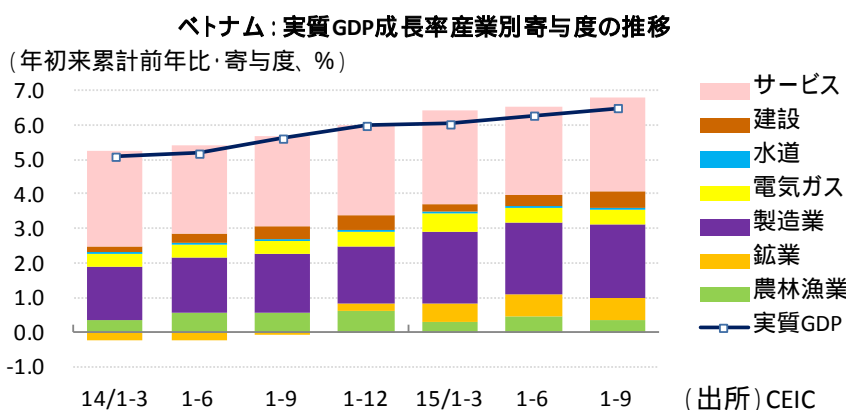
【シンガポールの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/7月	15/8月	15/9月	15/10月
GDP (yoy)	実質GDP	3.4	4.4	2.9	2.8	2.1	2.8	1.8					
	個人消費	3.4	3.6	2.5	1.9	2.2	3.3	3.8					
	総固定資本形成	8.6	1.1	1.9	5.6	1.2	1.0	4.1					
生産	鉱工業生産(yoy)	0.3	1.7	2.7	1.7	1.2	2.6	4.8	6.2	6.6	7.1	4.8	
消費	小売売上金額(yoy)	4.7	0.4	1.6	3.5	6.1	2.9	6.1	5.5	5.2	6.5	4.6	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	28.6	37.3	43.5	13.2	11.8	16.4	12.8	11.8	4.3	3.3	4.1	5.6
	輸出(yoy)	0.2	0.5	0.2	0.1	7.1	11.5	14.8	17.3	12.5	20.5	18.8	12.0
	輸入(yoy)	3.9	1.8	1.9	4.4	9.2	21.5	18.9	18.3	17.0	17.0	20.6	20.6
国際収支	経常収支(10億ドル)	49.8	54.1	58.8	17.5	14.8	20.0	17.2					
	外貨準備高(10億ドル)	259	273	257	266	257	248	253	252	250	250	252	250
雇用	失業率(季調値,%)	2.0	1.9	2.0	1.9	1.9	1.8	2.0	2.0				
物価	消費者物価(yoy)	4.6	2.4	1.0	1.0	0.0	0.3	0.4	0.6	0.4	0.8	0.6	0.8
金融	マネーサプライ(M2,%)	7.2	4.3	3.3	1.9	3.3	3.9	3.5	3.2	2.6	1.8	3.2	
	株価指数(ストリート)	3,167	3,167	3,365	3,277	3,365	3,447	3,317	2,791	3,203	2,921	2,791	2,998
	SIBOR(3M,期末値,%)	0.38	0.40	0.46	0.41	0.46	1.01	0.82	1.14	0.88	1.01	1.14	1.07
	為替レート(ドル/ドル)	1.25	1.25	1.27	1.25	1.29	1.36	1.34	1.39	1.36	1.40	1.42	1.40
	為替レート(円/ドル)	63.8	77.9	83.4	83.0	88.3	87.8	90.3	87.7	90.6	87.9	84.9	85.6

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、輸出入伸び率は米ドル建てベース。

4. ベトナム経済の概況

- ・景気は緩やかに回復している。
- ・1-9月期の実質GDP成長率は前年比+6.5%と1-6月期の同+6.3%からさらに加速した(四半期別には1-3月期同+6.1% 4-6月期+6.5% 7-9月期+6.8%)。牽引役は引き続き製造業(1-9月期前年比+10.2%;寄与度+2.1%)と卸小売を中心とするサービス業(同+6.2%;寄与度+2.7%)である。
- ・1-10月期の鉱工業生産は前年比+9.7%と堅調な拡大が続いている。中でも自動車(前年比+54.5%)テレビ(同+49.6%)携帯電話(同+42.6%)革靴(同+18.1%)などの生産が大幅に拡大している。
- ・1-10月期(累計)の輸出は先進国向けを中心に前年比+8.7%と堅調であった。地場企業の輸出は同-2.7%と低迷したが、外資系企業の輸出が同+14.3%、中でも石油以外の輸出が同+19.5%と堅調であった。輸入も前年比+14.2%(地場企業:同+7.5%、外資系:同+19.4%)と堅調に拡大したことから1-10月期の貿易赤字は41.3億ドルに拡大した。ただし、赤字の主体は地場企業(171億ドル)で外資系企業ベースでは130億ドルの黒字であった。



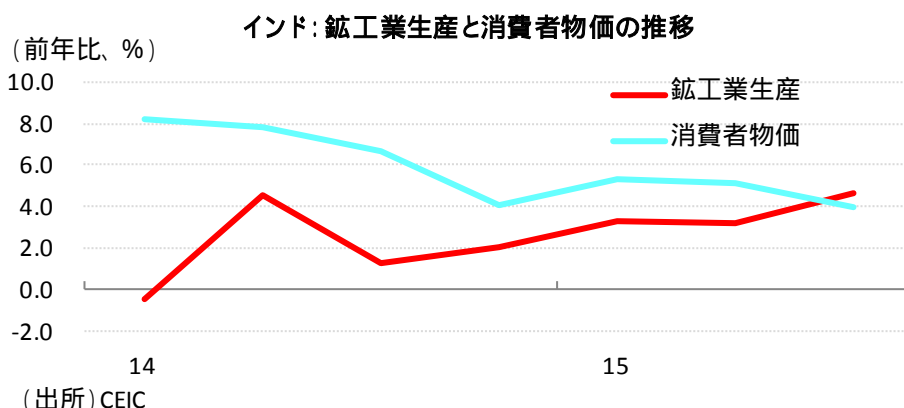
【ベトナムの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/7月	15/8月	15/9月	15/10月	
GDP (yoy)	実質GDP	5.3	5.4	6.0	5.6	6.0	6.1	6.3	6.5					
	ytd	農業	2.7	2.7	3.5	3.0	3.5	2.1	2.4	2.1				
		工業・建設	4.5	5.4	7.1	6.4	7.1	8.4	9.1	9.6				
生産	鉱工業生産(ytd, yoy)	4.8	5.9	7.6	6.7	7.6	9.1	9.6	10.1	9.9	9.9	10.1	9.7	
消費ytd	小売売上(名目, yoy)	16.0	12.6	10.6	11.1	10.6	10.0	9.8	9.8	9.9	10.1	9.8	9.6	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	2.0	0.4	0.8	0.4	0.7	2.7	1.2	0.4	0.5	0.3	0.2	0.1	
	輸出(yoy)	20.0	16.5	12.6	11.9	10.8	9.0	9.3	9.4	9.8	9.1	9.3	2.4	
	輸入(yoy)	7.9	18.2	12.3	13.5	14.6	19.7	13.7	11.6	13.1	15.9	6.2	3.0	
国際収支	経常収支(10億ドル)	9.4	7.7	9.5	2.4	1.9	1.0	1.3						
	外貨準備高(10億ドル)	25.2	25.5	33.8	36.4	33.8	36.5	37.0	30.3					
物価	消費者物価(yoy)	9.3	6.6	4.1	4.3	2.6	0.7	1.0	0.5	0.9	0.6	0.0	0.0	
	株価指数(VN index)	413.7	504.6	545.6	598.8	545.6	551.1	593.1	562.6	621.1	564.8	562.6	607.4	
金融	プライムレート(翌日物:期末)	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	
	為替レート(ドン/ドル)	20,828	20,949	21,159	21,246	21,246	21,458	21,601	21,818	21,673	21,890	21,890	21,890	
	為替レート(円/100ドン)	0.38	0.47	0.50	0.49	0.54	0.56	0.56	0.56	0.57	0.56	0.55	0.55	

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%), ytd=年初来累計ベース。

5. インド経済の概況

- ・景気の持ち直しは緩やかなものにとどまっている。
- ・9月の鉱工業生産は約8割のウェイトを占める製造業生産の鈍化(8月前年比+6.6% 9月同+2.6%)から同+3.6%と前月(同+6.3%)に比べて大幅に鈍化した。この一因として比較対象となる昨年9月の生産の水準がディワリ(ヒンズー教の新年祭:2014年は10月、2015年は11月)の祝日の前の駆け込み生産で嵩上げされていた可能性が指摘されている。また、少雨の影響で農村の需要が低迷し、約2割のウェイトを占める非耐久消費財の生産が前年比-4.6%と減少したこともあり9月の鈍化幅は市場の予想を上回った。しかし、インド準備銀行(中銀)による利下げや政府の投資拡大策もあり、毎月の振れを均せば緩やかな持ち直し傾向にある。
- ・一方、10月の消費者物価上昇率は約5割のウェイトを占める食品価格の上昇(前年比+5.3%)から同+5.0%に上昇した。こうした中でインド準備銀行は次回12月1日の会合では政策金利を据え置くとの見方が多くなっている。



【インドの主要経済指標】

		2012年	2013年	2014年	14/3Q	14/4Q	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/7月	15/8月	15/9月	15/10月
GDP (yoy)	実質 GDP	4.8	6.4	7.1	8.4	6.6	7.5	7.0					
	農業生産	1.9	13.8	5.7	7.3	0.7	3.7	6.5					
	実質 GDP (年度)	4.5	6.9	7.3									
	農業生産 (年度)	1.4	12.7	4.4									
生産	鉱工業生産 (yoy)	0.7	0.6	1.8	1.3	2.0	3.3	3.3	4.6	4.1	6.3	3.6	
消費	新車販売台数 (yoy)	9.8	7.5	0.8	7.3	2.6	4.0	6.2	6.3	11.4	4.0	3.8	21.5
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	192.9	150.6	140.1	39.4	38.9	26.0	32.2	35.8	12.8	12.5	10.5	9.8
	輸出 (yoy)	2.0	6.1	2.5	1.4	0.5	15.1	17.0	18.7	10.3	20.7	24.3	17.5
	輸入 (yoy)	5.4	5.0	0.5	10.3	8.3	13.7	12.7	15.6	10.3	9.9	25.4	21.2
国際収支	経常収支 (10億ドル)	91.8	49.2	27.8	10.1	8.4	1.5	6.2					
	外貨準備高 (10億ドル)	261.7	267.7	295.9	288.0	295.9	317.3	331.5	326.8	329.9	328.1	326.8	
物価	卸売物価 (yoy)	7.5	6.3	3.8	3.9	0.3	1.8	2.3	4.5	4.0	5.1	4.5	3.8
	消費者物価 (yoy)	9.7	10.1	7.2	7.4	4.9	5.3	5.1	3.9	3.7	3.7	4.4	5.0
金融	マネーサプライ (M3, yoy)	11.2	14.8	10.7	12.4	10.7	10.8	10.5	11.1	11.0	11.5	11.1	10.9
	株価指数 (BSE Sensitive)	19,427	21,171	27,499	26,631	27,499	27,957	27,781	26,155	28,115	26,283	26,155	26,657
	T B 3ヶ月	8.41	8.81	8.65	8.59	8.34	8.30	7.82	7.32	7.48	7.44	7.06	7.10
	為替レート (ルピー/ドル)	53.6	59.0	61.1	60.8	62.2	62.0	63.7	65.4	64.0	66.3	65.7	65.2
	為替レート (円/ルピー)	1.49	1.66	1.74	1.73	1.87	1.92	1.91	1.86	1.94	1.83	1.82	1.85

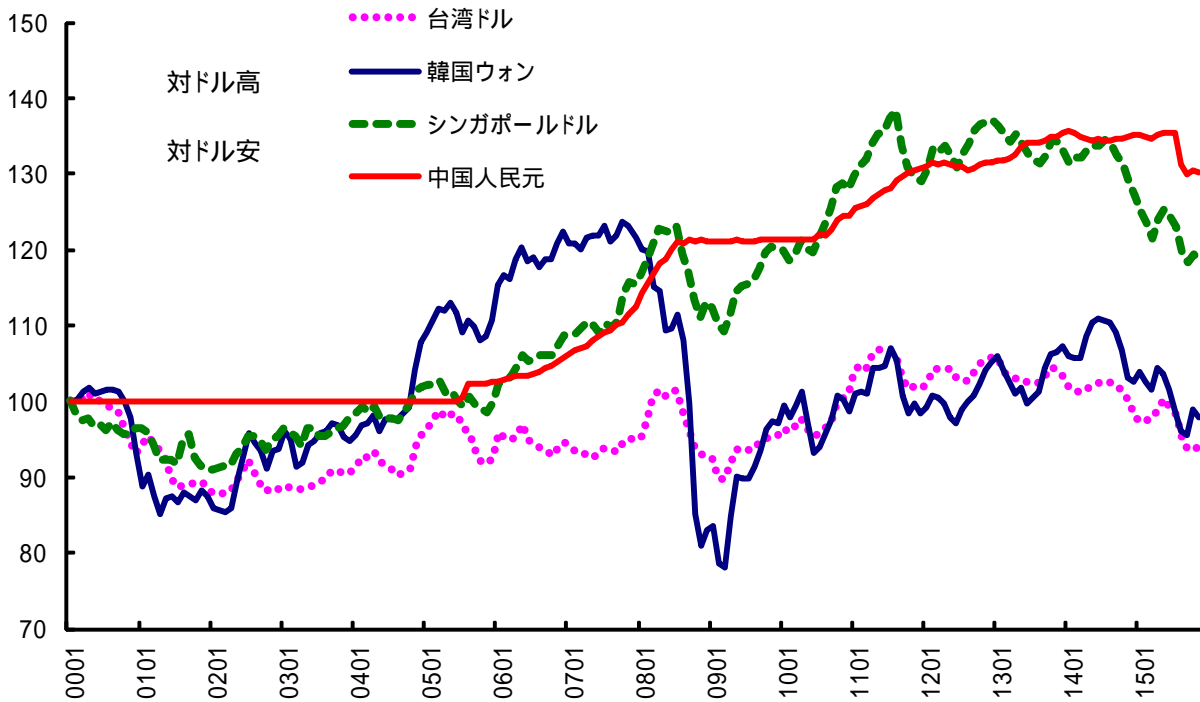
(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%), GDPは年次は2013年から新基準。年度は4月から翌年3月。新車販売は乗用車に限る。

・アジア通貨・株価動向

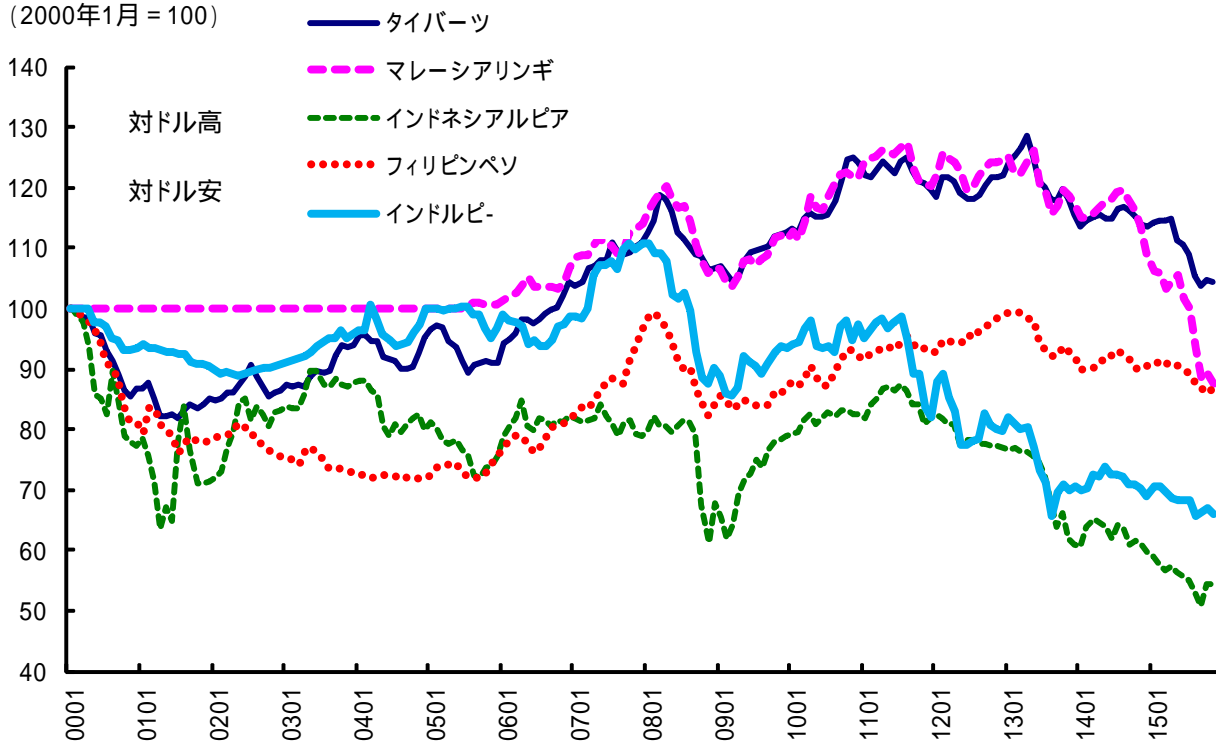
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)



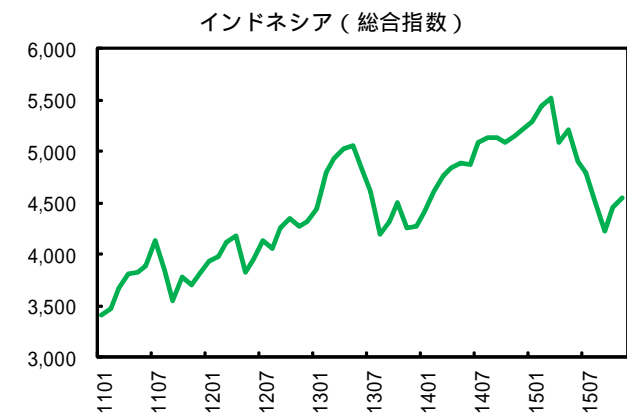
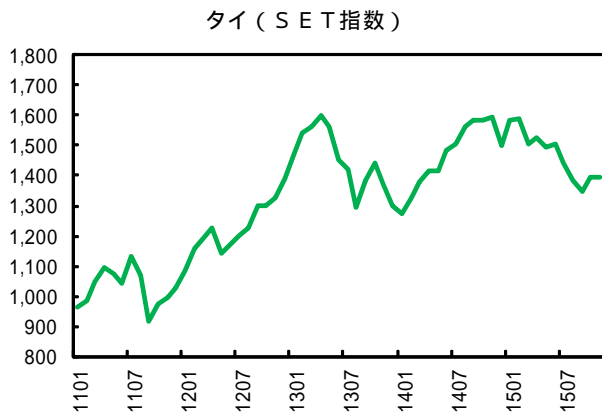
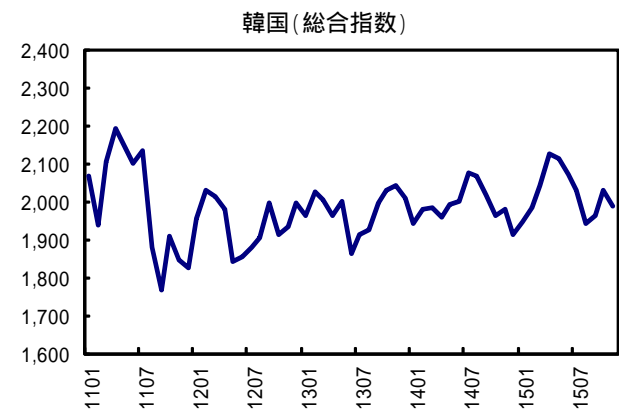
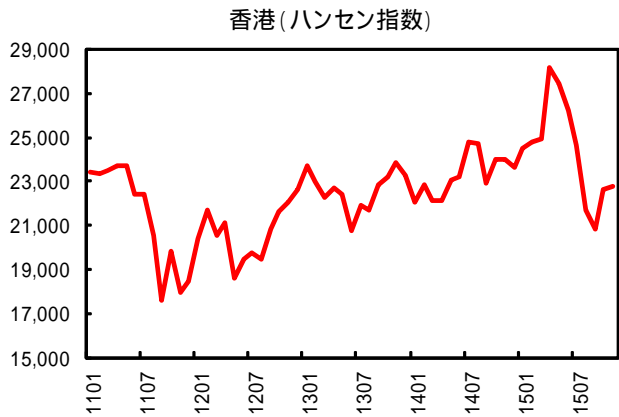
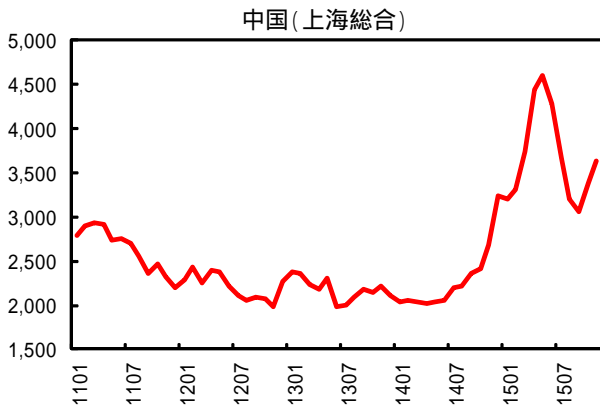
(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

(注) 直近は2015年11月1日～23日の平均値。

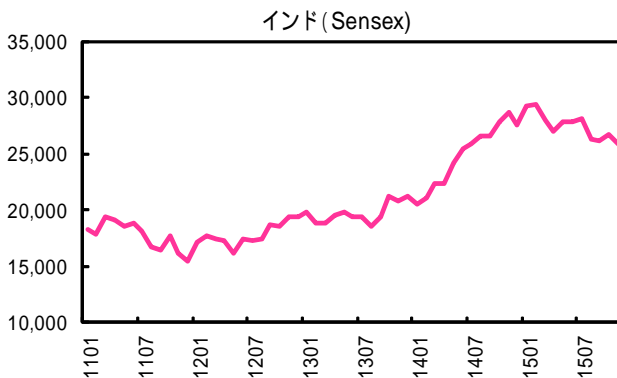
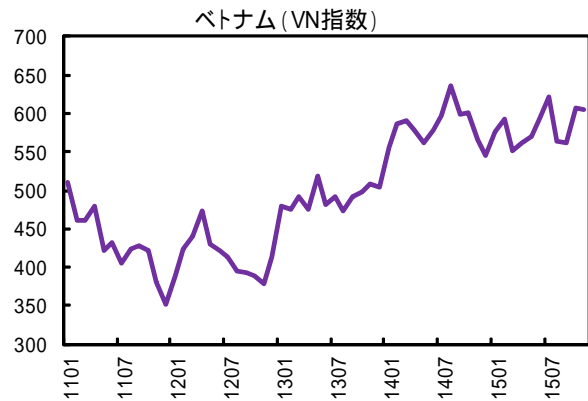
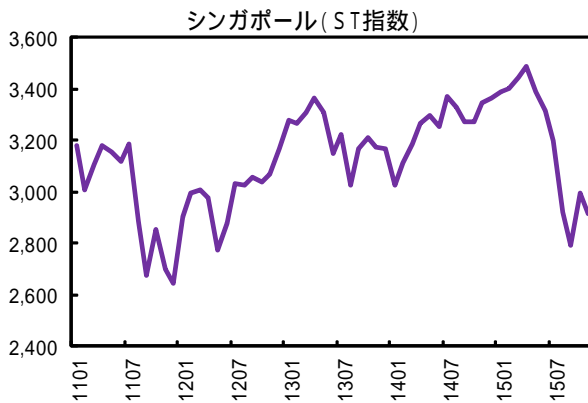
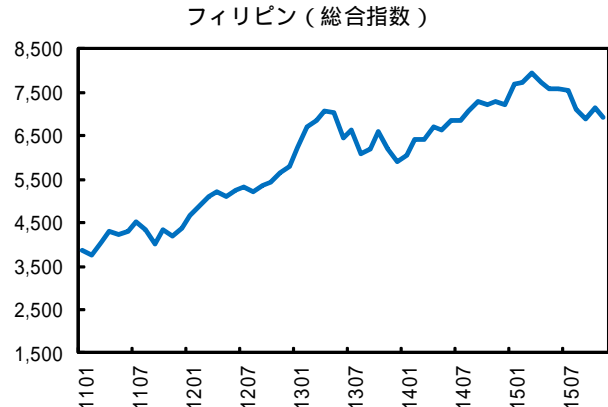
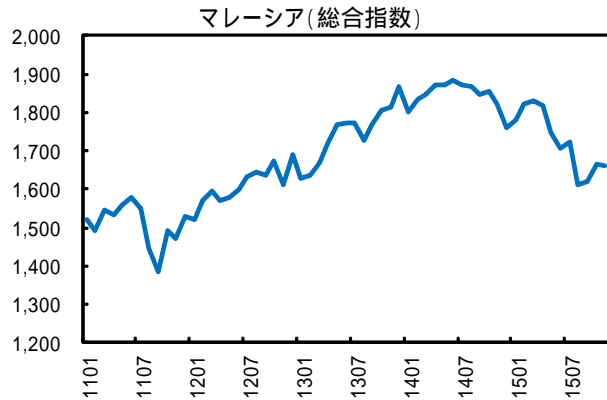
アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

(注) 直近は2015年11月23日の終値。

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC (注) 直近は2015年11月23日の終値。

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。